

第42回東毛地区社会教育委員研究集会

東毛地区内社会教育委員相互の研究協議を通して、生涯学習・社会教育を広域的観点から推進し、特色ある社会教育活動等の振興を図るとともに、社会教育委員や社会教育主事等の資質の向上を図ることを目的に研究集会を実施いたしました。詳しい内容は次のとおりです。

日時：令和元年9月18日（水）13時30分～16時30分

場所：みどり市笠懸公民館 交流ホール

参加者：各市町社会教育委員、社会教育関係者、社会教育関係事務局職員 合計72名

内容：（1）実践発表（2）講演会

（1）実践発表

『ミドリクエスト』みどり市探索のスタンプラリーに関わって

【旧2町1村一体感の醸成】

発表者：みどり市社会教育委員 高野 富由美 氏
新井 博介 氏

実践発表では、郡が異なる3町村の合併で、お互いの町の歴史や文化・自然など知らないことが多いということから、子どもから大人まで楽しくみどり市を知ってほしいという思いがあり、市内を巡るような企画ができないか協議検討を進める中で、市内のスタンプラリー箇所を巡る子供向けのバスツアーを実施したことなど、社会教育委員の関わりについて具体的でわかりやすい説明がありました。

〈参加者の声〉

○合併した3町村を知る良い機会になったと思う。また、伝統文化のポイント巡りで、市民も子どもたちもふるさとを知ることができ、素晴らしい企画だと思う。

○みどり市の子どもたちのためにという、社会教育委員さんたちの熱意を感じた。大変な実践だったと思うが、やりがいもあったと思う。委員さんのまとまりがあり素晴らしかった。

○社会教育委員としてまちづくりに貢献している様子がよくわかった。

○企画、立案、実施、周知も十分に図られていて、今後の活動の参考にしたい。



（2）講演会

「学校を核とした地域づくり」

講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会
代表理事 廣瀬 隆人 氏

講演では、国の動向を踏まえ、これからの社会教育の在り方や社会教育委員としての存在意義等について、実践事例を示しながら、お話いただきました。とてもわかりやすく、今後、社会教育委員として何をすべきか考えることができ、大変好評でした。

〈参加者の声〉

○社会教育委員として何をすべきか見えてきた。また、地域づくりについての考え方が理解できた。今後、できることから始めていきたい。

○地域づくりを進めるための視点を、具体的に教えていただいた。行政や住人との意識の壁はあるが、やれることからひとつずつ取り組んでいきたい。

